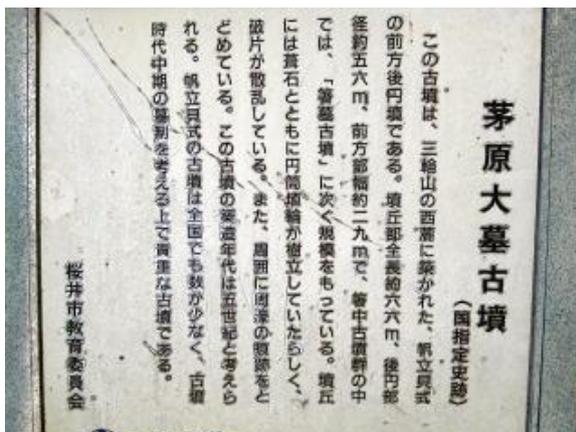


# 茅原大墓古墳（ちはらおおはかこふん）

およそ1700年前の古墳（こふん）とされています。全長（ぜんちょう）およそ66メートルで、ほたて貝に似た形をしていることから「ほたて貝式古墳（かいしきこふん）」とよばれています。ここからいろんな形のはにわが分かりました。中でもたてをもった人型（ひとがた）のはにわが出土（しゅつど）したのは、日本でも最古（さいこ）ということでも知られています。箸墓古墳群（はしはかこふんぐん）の中では、箸墓古墳（はしはかこふん）の次（つぎ）に大きいです。

茅原大墓古墳の  
説明



茅原大墓古墳の  
様子



茅原大墓古墳の  
様子



茅原大墓古墳から  
の出土品

